

□■養成所ニュースプラス第 34 号 2024□■

日の入りの時刻が、めっきり早くなりました。仕事も家事も片付けたら、長い夜を使って今日も勉強を始めましょう。

10月22日から週2回の配信をしてきました。国家試験の1科目目、医学概論からスタートし、今回の「社会福祉調査の基礎」で午前中の科目が終了です。来週からは、午後の科目に入ります。

36期生の皆さんも3学期が1か月過ぎました。レポート作成は進んでいますか。来週2回に分けて「レポート作成講座／3学期レポート作成のポイント」をお送りします。既に関き終えた方も、これからの方も参考にしてください。

本日、2本目の「受験対策のポイントを中心とするガイダンス」を公開しました。その中でふれている「作問のしくみ」を知ることで、正解を導きやすくなることもあります。隙間時間に視聴してください。

Plus Quizは、「社会調査の基礎」(現、社会福祉調査の基礎)から「横断調査と縦断調査」を取りあげます。今回も選ばなかった選択肢のどこを直せば適切になるか合わせて考えてみましょう。

■Plus Quiz

【第33回問題87】横断調査と縦断調査に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

1. 縦断調査とは、一時点のデータを収集する調査のことをいう。
2. 横断調査で得られたデータを、時系列データと呼ぶ。
3. パネル調査とは、調査対象者に対して、過去の出来事を振り返って回答してもらう調査のことをいう。
4. パネル調査は、横断調査に比べて、因果関係を解明するのに適している。
5. 横断調査では、時期を空けた2回目以降の調査で同じ調査対象者が脱落してしまうといった問題がある。

正答と解説は最後に記載してあります。

■Yoseijo Info

・(35期生) 修了に関する書類は、10月31日(木)にレターパックライトで発送しています。届きましたら必ず確認し、もし書類の不足等がありましたらご連絡ください。また、書類が届かない場合にはご連絡ください。

住所変更後、変更届を提出していない場合はご提出ください。

・(36期生) 教育訓練給付制度(専門実践教育訓練)の支給希望の方へ

11月1日(金)に支給申請書類一式を普通郵便で発送しています。届きましたら内容を確認し、11月中にご自身でハローワークに申請してください。印字内容が間違っている、ハローワークで受理されない等ありましたら早急にご連絡ください。

申請書類一式は原則として、再発行はできませんので、お取り扱いにはご注意ください。

本養成所からの申請書類発行のため、「受給資格者証と公的身分証明書のコピーの提出」及び「レポートの提出」「スクーリングへの出席」「授業料の納入」が必須となります。

・受講の手引の表紙裏(表紙の次のページ)に“レポート作成・提出チェックリスト”があります。

レポートの作成・提出の前に必ず確認してください。

■Test Info

国家試験に関する情報をお届けします

・第37回国家試験は、令和7年2月2日(日)です。

詳しくはこちら→<https://a02.hm-f.jp/cc.php?t=M1405705&c=3246&d=99c7>

※試験時間、試験科目(午前・午後の内訳)が公開されました。

・第37回国家試験から適用する社会福祉士国家試験合格基準並びに総試験時間数が公表されました。

詳しくはこちら→<https://a02.hm-f.jp/cc.php?t=M1405706&c=3246&d=99c7>

・日本ソーシャルワーク教育学校連盟主催の全国統一模擬試験のご案内です。

詳しくはこちら→<https://a02.hm-f.jp/cc.php?t=M1405707&c=3246&d=99c7>

※申し込み受付期間は終了しています。

・本養成所では、受験対策講座の一環として「受験対策のポイントを中心とするガイダンス」を web にて公開しています。

アクセスするための URL やパスワード等のお知らせはすでに郵送しておりますので、ぜひ受講してください。

URL はこちら→<https://a02.hm-f.jp/cc.php?t=M1405708&c=3246&d=99c7>

※本日、2 本目の動画を公開しました。3 本目の公開まで今しばらくお待ちください。←New

■Plus Info

その他の情報をお届けします

・日本知的障害者福祉協会では様々な情報を発信しております。

詳しくはこちら→<https://a02.hm-f.jp/cc.php?t=M1405709&c=3246&d=99c7>

・本養成所では、皆さんの後輩にあたる第 37 期生の出願を受け付けております。

現在、1 期募集を受付中です。皆さんの周りで社会福祉士取得を目指している方、関心をお持ちの方がいらっしゃいましたら、是非とも本養成所をご紹介しますようお願いいたします。

出願手続き等についてはこちら→<https://a02.hm-f.jp/cc.php?t=M1405710&c=3246&d=99c7>

資料請求についてはこちら→<https://a02.hm-f.jp/cc.php?t=M1405711&c=3246&d=99c7>

■Back Number

過去のバックナンバーはこちら→<https://a02.hm-f.jp/cc.php?t=M1405712&c=3246&d=99c7>

■Plus Column

年末まで休載します。

【Plus Quiz 正答と解説】

質的調査と同様、頻出の「量的調査」の方法には、「横断調査」と「縦断調査」があります。

「横断調査」は、1 度のみ調査で、得られたデータから確認できる傾向や変数間の関係性などを明らかにします。

「縦断調査」は、複数回の調査を行い、時間経過に沿って集団がもつ情報量の変化を確認する方法で、「動向調査」「集団調査」「パネル調査」の 3 種類があります。「動向調査」は時間経過とともに、特定集団の動向がどのように変化しているかを確認します。「集団調査」は、調査者が調査対象者の範囲を特定して、時間経過の中でどのように変化していくかを確認します。「パネル調査」は、同一の集団で経時的に複数回行い、その変化を確認します。

それぞれの方法を理解したうえで、分析可能な範囲やデータ収集での注意点や工夫を理解することも求められます。

以前のメルマガでもお伝えしたように、この科目は、「社会調査の基礎」から「社会福祉調査の基礎」に科目名が変わるとともに、専門科目から共通科目に移りました。その意味では、新出題基準の大項目、「ソーシャルワークにおける評価」は重要です。今まで、他の科目でも出されてきた内容ではありますが、「評価の意義」「評価対象」「評価方法」について、小項目の例示を手がかりに確認しておきましょう。

1. ×「縦断調査」は異なる時点で複数回、データを収集します。一時点のデータ収集は「横断調査」です。
2. ×時系列データは、縦断調査で得ることができます。時系列データは、時間経過による変化を含むデータをさします。横断調査は、1 度のみの実施なので、時系列データを得ることはできません。
3. ×パネル調査は、縦断調査のひとつです。過去の出来事を振り返って回答してもらうのは、パネル調査の説明ではありません。
4. ○因果関係の解明には、「原因と結果には時間差がある」ことが必要で、パネル調査は、時間経過による変化から因果関係の解明が可能です。

5. ×横断調査は、1度のみの実施なので、2回目以降の調査はありません。パネル調査は、他の縦断調査の方法に比べ、最も変化を確かめることができますが、同一集団が対象のため、調査の回数を重ねるごとに対象者が脱落して、標本数が少なくなる短所もあります。

※掲載内容の転載・再配布はご遠慮ください。

※メール内容に対する個別の対応は行っておりません。

※問い合わせ等については社会福祉士養成所ホームページより行えます。

〒105-0013 東京都港区浜松町 2-7-19 K D X 浜松町ビル 6F

Copyright2016 YoseijoNewsplus